

2026 年度
一般選抜 後期
総合評価型

総 合 問 題

(50点 60分)

-----<注 意 事 項>-----

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の印刷不鮮明等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 解答用紙には次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、記述しなさい。

①氏名欄

全ての解答用紙に氏名・ふりがなを記入しなさい。

②受験番号欄

全ての解答用紙に受験番号（数字）を記入しなさい。

- 4 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

第1問 次の滋賀県の水産業の現状についての文章を読み、問1、問2に答えなさい。

琵琶湖は滋賀県の面積のおよそ 1/6 を占める日本最大の湖であり、世界でも有数の古代湖です。海と隔絶されたこの広大な閉鎖性水域では、長い年月をかけて多くの固有種を含む多様な魚介類が育まれてきました。現在、琵琶湖に生息する魚介類は 110 種、そのうち 44 種は琵琶湖固有種です。

図1に示すように琵琶湖漁業の漁獲量は、昭和30年頭には10,000トン前後ありましたが、昭和30年代に急激に減少し、その後は増減をくり返しながら昭和50年代末までおよそ5,000～6,000トンで推移していました。しかし、平成に入ってから再び大幅に減少し、近年は1,000トンを下回る状況が続いています。令和4年の漁獲量は701トン（外来魚を除く）となりました（図1）。

令和4年の漁獲量の内訳をみると（図2）、アユが319トン（全体の46%）。次にワカサギ84トン、エビ類58トン、ニゴロブナ40トン、シジミ38トン、ホンモロコ30トン、マス27トンとなっています。漁獲量が10,000トンを超えていた昭和32年と比較すると、シジミ、フナ類、ホンモロコの漁獲量が大幅に減少していることがわかります（図3）。（令和6年度 滋賀の水産）

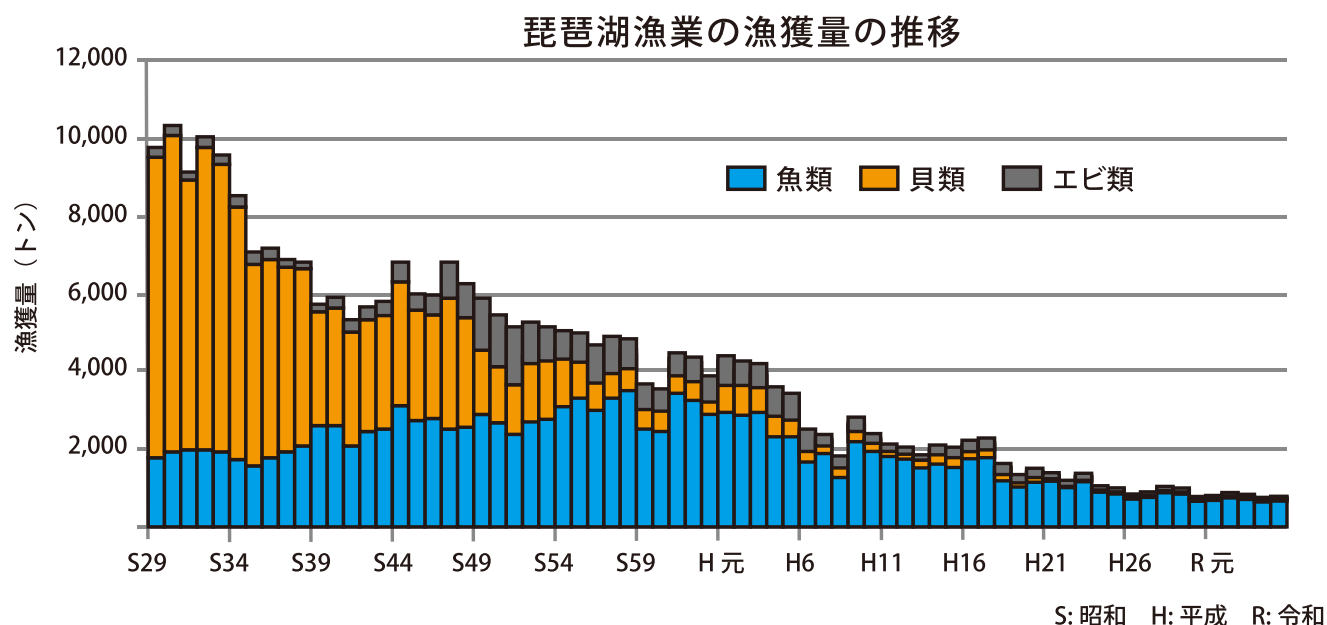


図1 琵琶湖漁業の漁獲量の推移

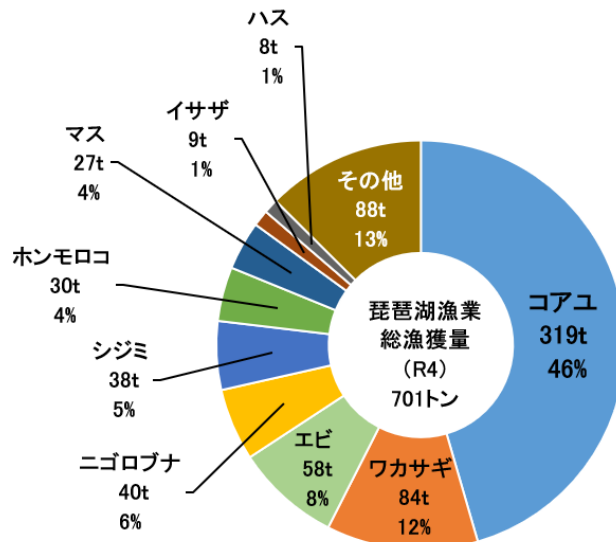


図2 農林水産省統計部 令和4年漁業・養殖業生産統計より

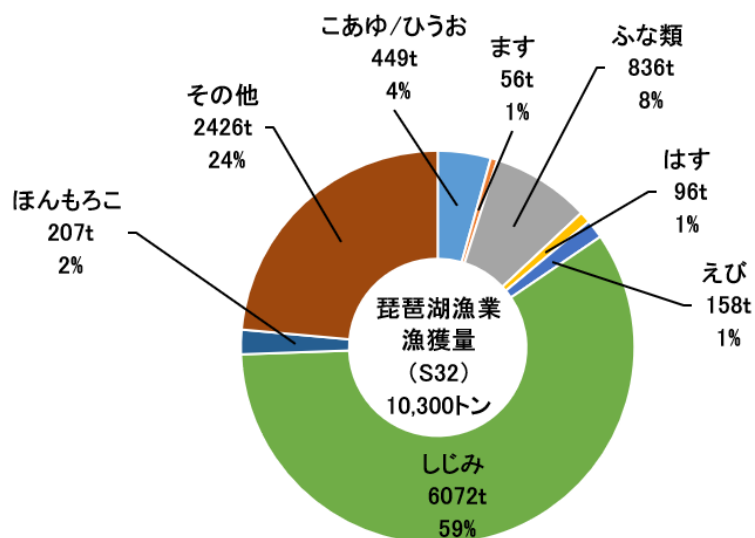


図3 滋賀農林統計協会 昭和32年滋賀農林水産統計年報より

問1 琵琶湖漁業の漁獲量減少の原因について、あなたの考えを200字程度で述べよ。

問2 漁獲量減少に歯止めをかける対策について、あなたの意見を200字程度で述べよ。

第2問 次の滋賀県の畜産業の現状についての文章を読み、問3、問4に答えなさい。

滋賀県は、琵琶湖の恵みを受けた豊かな自然環境、都市近郊という地理的条件を生かした産業の発展により、歴史にその名を刻んでまいりました。畜産業においても、歴史と伝統を誇る「近江牛」は、日本三大和牛のひとつにも挙げられるなど、全国的にも高い知名度と評価を受けており、県を代表する滋賀トップブランドのひとつとなっています。

一方で近年の畜産をとりまく情勢は、円安の進展などによる国際為替状況から、飼料価格などの高騰に伴う生産コスト増加に対し、物価高騰に伴う消費者需要が伸び悩むなど、畜産経営は依然として厳しく、先が見通せない状況にあります。家畜防疫におきましては、高病原性鳥インフルエンザ、豚熱、アフリカ豚熱、口蹄疫などの家畜伝染病対策など、喫緊の課題が顕在化しており、これら疾病の発生予防とまん延防止のため、生産農場における飼養衛生管理基準の遵守徹底がきわめて重要となっているところです。

さらには、地球環境を意識した温暖化ガスの排出削減や、家畜を快適な環境下で飼育することにより、家畜のストレスや疫病を減らす取り組みである「アニマルウェルフェア」への配慮など、国際的かつ社会的意義が評価される対応を求められるなど、大きな転換期に差しかかっています。（滋賀の畜産 2025）

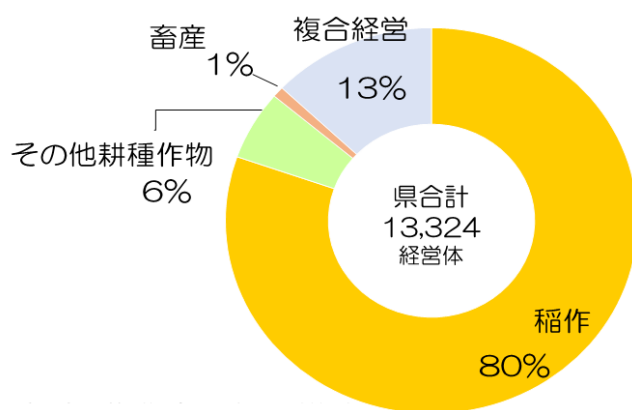


図4 滋賀県の農業経営体数 （資料：農林水産省「2020年農林業センサス」）

耕種作物:田畑を耕し、米・麦・野菜・果物・花・豆類・芋類など、人間が利用する様々な植物を栽培する「耕種農業」で育てられる作物の総称

複合経営:1つの農業経営体が複数の農業部門（作物部門、畜産部門、加工部門など）を組み合わせる経営方式のこと

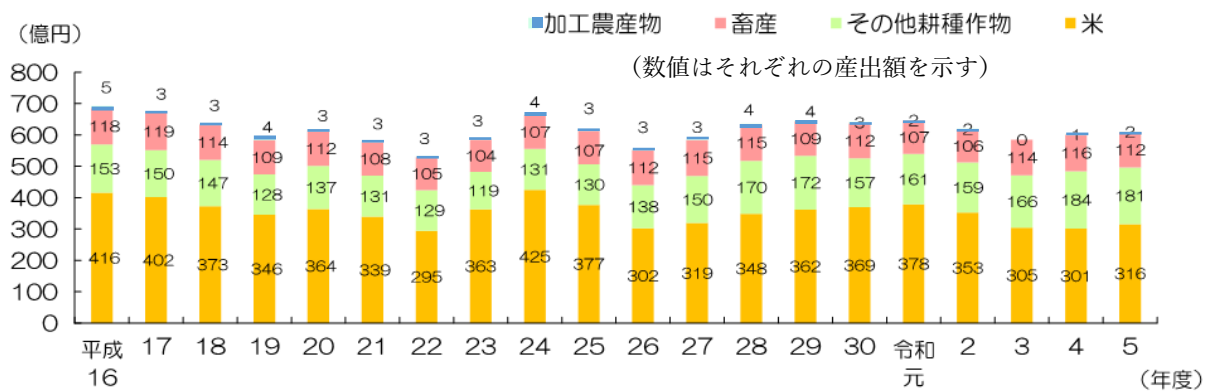


図 5 滋賀県の農業産出額の推移 (資料：農林水産省「生産農業所得統計」)

問 3 文章および図 4、図 5 より、滋賀県の農業における畜産の位置づけについてあなたの考えを交えて 200 字程度で解説しなさい。

問 4 これからの滋賀県の畜産について、あなたの意見や考えを 200 字程度で述べよ。

(下 書 き 用 紙)

(下 書 き 用 紙)